

「交通事故死者数の増加に係る事故防止対策の強化の申し合わせ」

「トラック事業における総合安全プラン2009」において、平成30年までに交通事故死者数を220人以下にするという目標を掲げ様々な施策を推進してきたところであるが、中間目標である平成25年においては目標未達の状況であり、更に、平成26年は平成25年を大幅に上回る状況となっており、最終目標達成は非常に厳しい状況にある。

「貨物自動車に係る運転免許制度の在り方に関する有識者検討会」においても総合安全対策が必要とされており、トラック運転者教育の充実等が掲げられている。

さらに、警察庁、国土交通省より交通事故死者数の更なる削減に向けた共同啓発活動の推進についての要請も寄せられており、今後、あらゆる施策を講じ、交通事故死者数の減少に取り組む必要がある。

このため、私たちトラック運送業界として、過労運転の防止はもとより、輸送の安全確保等に万全を期すことにより、交通事故死者数の増加に係る事故防止対策の強化を申し合わせる。

平成26年7月17日

公益社団法人全日本トラック協会